

メインライン化のご報告

2009年7月3日

TOMOYO Linuxプロジェクト

原田季栄

haradats@gmail.com

はじめに

📌 会場について

📌 勉強会について会場をご提供いただいた日本SGI様に感謝します (_ _)

📌 懇親会について予約をご快諾いただきました銀座ライオン様に感謝します (_ _ ??)

しかし困った

- 📌 既にほとんどの情報が公開されている
 - 📌 取り組みの詳細は 「はてなキーワード」 に
 - 📌 全講演資料は 「プロジェクトの文書置き場」 に
 - 📌 メインライン化の経緯は ZDNet, ThinkIT の記事に

📌 こんなに公開するんじゃない
なかった・・・

📌 後悔してどうする

こう考えた

📌 限られた時間、文字数で、自分の気持ちを凝縮して伝える・・・

📌 そうだ！ハイクだ？

「さがしてた 自分で使える 拡張を」

- 📌 2003年R&Dのテーマとして取り組みを開始
 - 📌 当時既にSELinuxは存在していました
 - 📌 「良さそうだけれども実際に使うのは難しい」と思いました
 - 📌 調べながら、試行錯誤しながら

公開前

- 📌 少しずつプログラムが形になってきて、Linux Conferenceなどで発表するようになりました
- 📌 あの頃「いつ公開するんですか？」と聞かれるのが辛かった
 - 📌 半田さんに「いつになるかはわからないけれど、きっと公開する」と約束しました

公開の日

- 📌 2005年11月11日

- 📌 VA Linux Kernel Conference 2005で
「TOMOYO Linuxへの道」として講演をする
まさにその日

- 📌 待ち望んでいた公開の決裁がおりました

- 📌 講演会場で最初のバージョンをアップロード

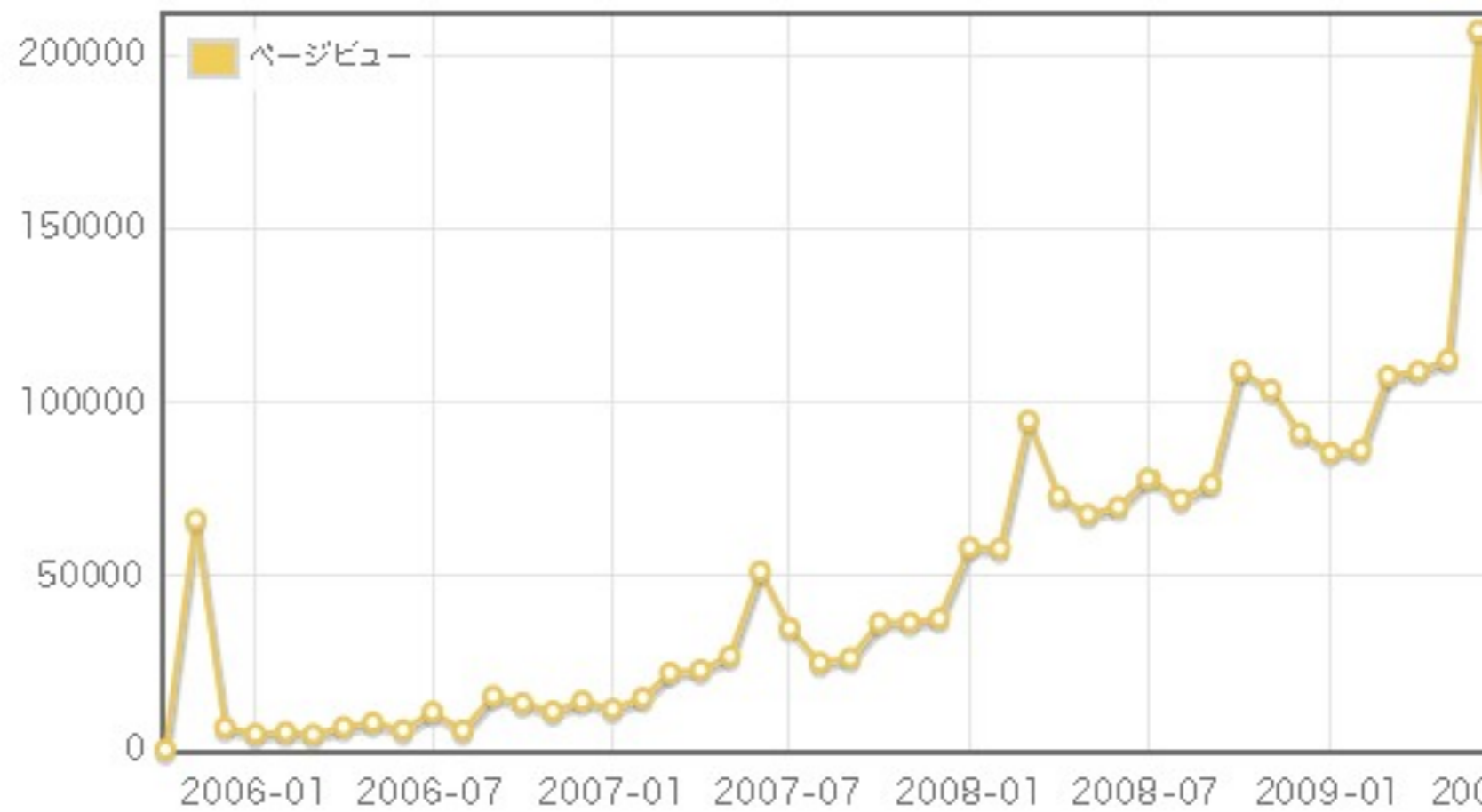
📌 名前について

📌 まさか「あれほど」反響があるとは・・・

📌 公開直後のpage view記録が更新されたのは、2年3ヶ月後です

プロジェクト統計情報: TOMOYO

すべて(月ごと)のページビュー



メインライン化へ

- 📌 小さな偶然が運命を変えました
 - 📌 上田さんからのCELFFでの講演依頼は、たまたま山田本部長と同じ電車に乗り合わせたのがきっかけ
 - 📌 オタワのCFPがたまたま一週間延期されていた

Realities of Mainlining

- Case of the TOMOYO Linux Project -

Toshiharu Harada

<haradats@nttdata.co.jp>

<haradats@gmail.com>

NTT DATA CORPORATION

July 9, 2008

Dec. 8, 2006

- * **Satoru Ueda** of CELF (Consumer Electronics Linux Forum) asked me to demonstrate TOMOYO Linux at their technical meeting.
- * <http://tree.celinuxforum.org/CelfPubWiki/JapanTechnicalJamboreeI2>
- * I spoke to them,
 - * “please send requests/questions in Japanese”
 - * “please use TOMOYO Linux”
- * And got ...



Feb. 8, 2007

- * **Hiro Yoshioka** of Miracle Linux gently asked me to introduce TOMOYO Linux to a pretty famous Japanese community, YLUG (Yokohama Linux Users Group)
- * I accepted as usual not knowing what would happen ...



Hiro Yoshioka (YLUG)



Masahiro Itoh (BlueQuartz)



Hideaki Yoshifuji (Usagi)

「disられて 素直に意見 聞きました」

- TOMOYOのメインライン化は「与えられた目標」
でした
- 全くの想定外であり、そんなことが可能とは思っていませんでした
- 結果的には、コミュニティの声がNTTデータという会社の取り組みを変えたのです

しかし状況は最悪だった

- 📌 既にSELinuxがマージされていた（誰がNSAとSELinuxに勝てるだろうか？）
- 📌 しかもAppArmorが先に戦っていた
 - 📌 場はめちゃめちゃに荒れ、人心はすさんでいた
 - 📌 「またか！」 「過去ログ読め（ごるあ）！」

メインライン化生活とは

1. とにかくメールを読む
2. 状況（空気）を読む
3. 作戦を考え、パッチを投げる
4. 沈む、耐える
5. 先頭（戦鬪）に戻る

最初の難関

- 📌 当時は既にSELinuxがマージされていた
- 📌 誰が何を投稿しても「それはSELinux」でできる、「SELinuxのほうが良い」攻撃
- 📌 しかもSELinuxチームは素晴らしく優秀
- 📌 誰もがSELinux以外はマージされないだろうと思っていた

天の救い

- 📌 James Morrisいわく

- 📌 「どうやら他のセキュリティモジュールがないようだから、LSMもやめましょう」

- 📌 Linusいわく

- 📌 「LSMはなくさない。そんなこと言うなら AppArmorとかSmackマージするぞ」

- 📌 というやりとりを通勤途中の東海道線の中で読む
(携帯で)
- 📌 会社に着くと座る前にメンバーを集める
- 📌 「パッチを作って投稿しよう！」
- 📌 LKMLで「ちゃっかりしたやつらだ」と笑われる

パッチよあれがメインラインだ

- 📌 ちゃっかり提案は残念ながら採用されなかったが
- 📌 それ以降SELinux陣営は静かになった
- 📌 Smackがマージされて、誰もが「本当にSELinux以外もマージできるんだ」と思った
- 📌 ありがとう、James Morris (T_T)

アクティビティ

- 📌 パッチの採用について、「情熱」「熱意」が見られているような気がします
- 📌 2度目のオタワであるOLS2008では、提案投稿の状況について発表を行い、暗に取り組みをアピールしました

Time to Glean

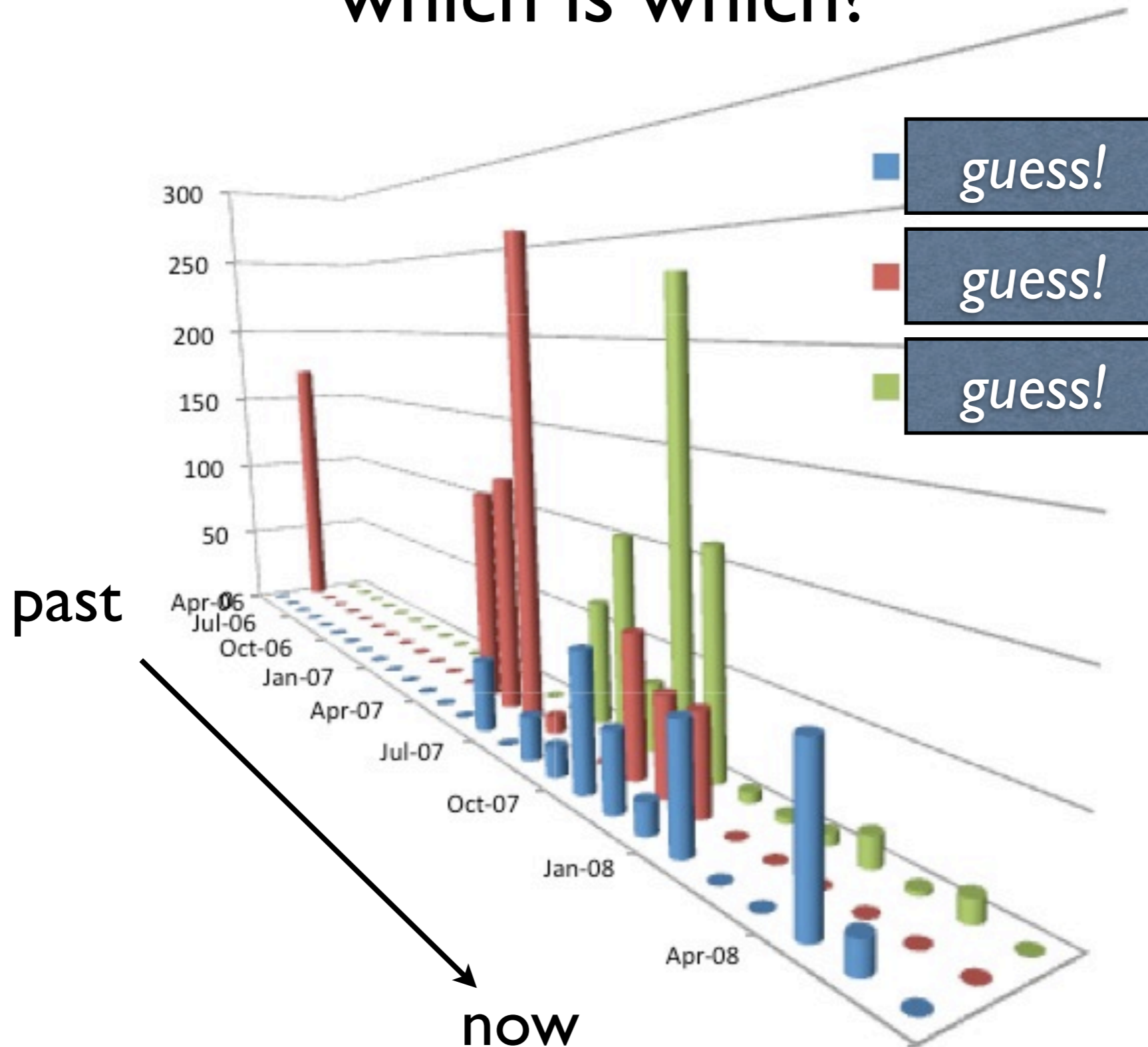
MAC for Linux, history and the future

July 25, 2008

Toshiharu Harada
<haradats@nttdata.co.jp>
Kentaro Takeda
Tetsuo Handa

NTT DATA CORPORATION

AppArmor, Smack and TOMOYO which is which?



メインラインに入って

- 📌 特に驚きはなかった
- 📌 「投稿しても駄目」なのが当たり前になっていたから、投稿作業は完全にルーチンと化していた
- 📌 飲みに行くわけでもなく全員普通に退社（笑）
- 📌 つまらないプロジェクトですね（笑）

📌 あのYLUGで言われたことは実現しました

📌 カーネルサミットに呼ばれる (笑)

📌 オタワに行く

📌 世界に顔を売る (謎)

メインラインは誰のもの？

- 📌 アポロ13号の映画を見ました
- 📌 操作していたのはクルーであっても、クルーだけの力ではありません
- 📌 NASAのスタッフと、パイロットの生還を願う人々の思いが奇跡を招いたのです

- 📌 プロジェクトメンバーも自分も常にそのとき良い
と思うことをやり続けてきました
- 📌 それができたのはプロジェクトを支えてくれる人
たちの存在を感じられたからです
- 📌 だから、メインラインはみんなのものです
- 📌 是非「一緒に」喜んで欲しいと思います

- 📌 支えられていたからこそここまで続けてこられました
 - 📌 ページビューに、ダウンロード件数に、ブログの書き込みに、メーリングリストの発言に、講演やデモの参加者に
 - 📌 いつも感謝していました

「おめでとう メインラインで 何のこと」

- メインライン化が射程圏に入ってから、社内の関係者にその意味を説明するのは大変でした
- あらためてオープンソースの世界と企業の世界の違いを実感しました
- 「今まで、どんだけ知られてなかったんだよ」
とも

メインライン化の秘密

- 📌 メインライン化はひとつの達成ですが、本当はそのプロセスに意味があります
- 📌 ソースコードは重要ですが、それだけではありません
- 📌 それを作る人たちが素晴らしいのです
- 📌 是非それを自ら体験してみてください

「グローバル」について

- 📌 TOMOYOのプロジェクトは、「グローバル」の中にいた
- 📌 カーネル開発やメインライン化はグローバルが前提
- 📌 グローバルの意味を理解し、グローバルな考え方を身につけた

make the change

- 📌 今日から
- 📌 この勉強会がきっかけになれば
- 📌 最後はやっぱりハイクで

「気がつけば 多くの人に 支えられ」

📌 ありがとうございました

📌 またお会いできる時を楽しみにしています